

## ピアニストとピアノ技術者のやり取り、コンサートの舞台裏とは

1. 日 時 : 2026年4月21日(火) 11:15~12:45
2. 場 所 : F-434 教室 学内他聴講可
3. 対象学生(必修) : 大学3年・4年ピアノ演奏法受講生
4. 講師紹介 : 荒木 欣一 氏

1964年生まれ、福井県出身。

1983年中部ピアノ技術専門学校でピアノ技術を学ぶ。

1985年渡伊。Alberto Napolitano社に入社。その間ドイツのピアノメーカー

「GROTRIAN-STEINWEG」「C.BECHSTEIN」「STEINWAY & SONS」工場にて研鑽。その間、レナード・バーンスタイン、ブーニン、ルチアーノ・パバロッチェ、アルド・チッコリーニなどクラシックから、レイ・チャールズ、ポール・マッカートニーなどのジャズ、ポップスのジャンルまで様々な演奏家のピアノ調律を担当し幅広く活躍。当時のピアノ雑誌「シヨパン」にも取り上げられる。

1992年帰国。前スタインウェイ総代理店の松尾楽器商会の技術者としてコンサートピアノの調律、保守管理に努める。

1999年 株式会社うたまくら入社。

2004年4月NHKラジオ深夜便〜ないトエッセイ〜「調律師のひとりごと」に出演。

2023年豊中市文化芸術センター主催にて「シン・ピアノカイトショー」

2024年兵庫県立芸術文化センター主催にて「中川賢一のピアノパーク」

それぞれで分解解体などピアノ技術アシスタントを務める。

また毎年吹田市文化会館メインタワー主催にて夏休み自由研究として深くピアノに親しんでもらうための子供向け講座なども行っている。

うたまくらピアノ工房ではヨーロッパでの経験を元に100年以上前のピアノの修復、

お客様のピアノ修理、販売用ピアノのメンテナンスなどを行い、全国のお客様宅へ伺っている。

福井県越前市で36年続いている武生国際音楽祭では20年以上ステージ全般のマネージャーを務め、

また関西を中心としたコンサートホールで各ピアニストの調律を担当し、高い技術でコンサートをフォローしている。

### 5. 講義概要 :

ピアニストは音や響き、鍵盤の感触を技術者に伝えるために言葉で表します。  
そして技術者はその実際の音を聞き言葉を理解して、ピアノのメカニックなどの物理的なものに置き換えて作業します。

今回の講義ではコンサートを成功させるまでの舞台裏での仕事についてお話します。

◇感触を言葉に表すには、比喩的か、物理的か？

◇ピアニストとの対話から

アルド・チッコリーニ、ポゴレリッチ、キーシン等のピアニストが伝える要求とは

◇ピアニストと技術者のやり取りの失敗例から

◇演奏会でのアクシデントにどう対処するか？

◇ピアノ技術者の行動について